

〔講師〕 家森 幸男 氏 プロフィール

1937年京都市生まれ。京都大学大学院修了。医学博士。同大学名誉教授。現在、武庫川女子大学国際健康開発研究所 所長、(公財)兵庫県健康財団会長、健康加齢医学振興財団理事長、脳卒中ラットの開発に成功、脳卒中が栄養で予防可能なことを実証し、WHOの協力で世界61地域を40年かけて健診。24時間尿の分析で大豆や魚介類の常食が生活習慣病を少なくし、「適塩和食」で健康寿命延伸の可能性を検証。ジョージアから分析のため持ち帰った発酵乳を企業の協力得てホームメイドのヨーグルトとして食環境改善に貢献。ベルツ賞(1993)、紫綬褒章(1998)、杉田玄白賞(2004)、瑞宝中綬章(2012)などを受章、『大豆は世界を救う』(法研)『世界一長寿な都市はどこにある?』(岩波書店)、『遺伝子が喜ぶ「奇跡の令和食」』(集英社インターナショナル)他、著書多数。令和4年文藝春秋の創刊百周年記念に「世界最高の長寿食」を令和5年新春号まで10回に渡り連載、生活習慣病予防の「知識のワクチン」として寄与した。

